

クリーンクルーの@がSUN SUN

川崎美紀の  
SMILE通信

きょうも  
おもてなし  
日和



Vol. 19 輝く女性を応援する、「キレイ」の提案

ました。現場は女性が多いのにここだけ男性ばかり、「女性にも来てもらえるような展示会にしたい」と、つい思ってしまったのです。それが今回の企画の、そもそもの発案理由です。

講演では、女性を含め多様性のある人材とともに進む、これからの職場づくりの話と、女性を生かす具体策として色と身だしなみ（メイクアップ）の紹介をしました。

ブースでは、「カラー診断」としてパーソナルカラーの診断をメインに、カラー（色）と関わりの深い化粧品を紹介スペースを設けました。一人ひとりに似合う色（カラー）を診断するなど、いままでにない視点での提案だったと思いますし、実際初めての展開でした。

Happy New Year of the Boar, 2019.

亥年の素敵な新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。「おもてなし日和」を書き始めてから2回目の新年、本年もよろしくお願いたします。

フェア会場で  
パーソナルカラー診断を実施

今年のスタートは、色とメイクです。

昨年11月に開催された「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2018」に参加しました。女性を生かす職場づくりをテーマにし

た講演と、メイクのワークショップ、カラー診断のブースと3本立てです。「輝く女性を応援する」という大きな旗を掲げて挑んでみました。

「何かいままでにないことを」という主催からの要望に3本立てで提案したところ、やってみようOKが出ました。初めてという不安がありましたが、反面「根拠のない自信」のようなものもありました。

その「根拠のない自信」は、昨年のヒューマンフェアのレポートを見たときに遡ります。写真に写っていた人は100%男性で、真っ黒な後ろ姿ばかりでした。

「これではいけない」と強く感じ

そして、結果、予想を上回る人数の方々が立ち寄りになり、カラー診断を受けてくださいました。なかにはタイミングが合わず、予約がいっぱいでお断りさせていただく方も出るほどでした。3日間でおおよそ80名の方に鏡に向かっていただき、似合う色をお伝えしました。カラーリスト2名がフル稼働しても追いつかない状態でした。

パーソナルカラー診断は、その人がもともと持つ肌の色や髪、瞳の色などを参考に、似合う色を見定めます。春夏秋冬の四季になぞらえて色の傾向を分けています。似合う色は、顔をすっきり見せたり、色白に見せたり、元気に見せたり、プラスに働くものです。

初めての試みですから、もの珍し

いのは当たり前。興味を持っていたくことこそ、今回の目的の一つです。結果的には、チャレンジしてよかったと心から思いました。

初日に遠巻きに見ていた男性が恐る恐る近づいてきて、「やってもらえる？」と声をかけてくれたときは「やった！」と思いました。女性に関心を寄せることは、必ずや男性にも波及していきます。女性の持つ高い情報収集力は、これからも見逃せません。

そういえば、「肌色」という色をご存知ですか。

肌色は、ある程度の年齢の方には馴染みのある色の名前ですが、若い方には通じません。いまは「うすだいたい色」や「パールオレンジ色」と呼びます。

考えてみると、肌色とは面白い名前です。その色以外の色の肌は、「肌色」ではないと決めてしまうと大変都合が悪い。時代、ですね。肌の色はさまざまです。

この話を年上の方としたときに、「そもそも昔は、色は12色だった」と言われました。12色では表しきれないカラフルな現在です、色への関心はこれから一層高まると感じています。

現場女子たちに  
メイクが必要な理由

女性の関心といえば、メイクアップも、です。

「清掃のおばちゃんに化粧品はいるのか？」と、あるビルメン企業のトップに言われました。

「はあ、まだこの程度の認識なんだなあ」

みなさんはいかがお考えですか。

そういうこのトップも、キレイは大好き。モノでも、場所でも、ヒトでも、キレイは人を喜ばせます。キレイにすることに何の疑問があるのだろうか。だからなぜ必要なのかをしっかりと伝えて、納得してもらわなければと痛感しました。

—なぜ？

その答えは、現場の声にあります。メイクアップのワークショップ後に、参加して下さった何人かに感想を伺うことができました。

「私たちメイクしていいんですね。ユニフォームがどんどん派手になっ



イラスト★ささきさとみ (http://blog.goo.ne.jp/satomi343)

ていくのに、自分自身はどうしたらいいのかわからずにいました」「派手と華やかさの違いがわかりました」「バランスが大切だと気がつきました。帰ってからさっそくメイク道具を買おうと思います」

感想を伺った方々は皆、幅広い年代の「現場女子」でした。予想をはるかに超えた生の声、やっぱりお困りはここにもあったのだと確信しました。正しく習う機会が必要です。胸がいっぱいになりました。

体験できる席は24席用意して、1席を残してすべて埋まりました。講師の説明とモデルへのデモンストレーションメイクを食い入るように見て、メモをとりながら聞き入る姿は感動的でした。これが答えです。

主催、協賛の方々のご協力に改めて深く感謝申し上げます。参加して下さった皆様には、誌上をお借りして改めて御礼申し上げます。

\* \* \*

今年はどうな色の年になるでしょうか。

新しい年の始まりはおめでたい気分になる、鮮やかな色が好まれます。気持ちを新たにするとき寄り添う色です。

そういう、色の持つ「力」について考えるのは楽しいですね。難しく考えないで、へえーと軽い気持ちで肩の力を抜きます。色の選択は、その人の好みでいいんじゃないかと思っています。

ですが、好きな色と似合う色は違うこともあります。元気が出る色やよりきれいに見える色、いわゆる私を「輝かせる」色があるならば、ぜひ身につけたい。楽しく生きていくヒントです。

色について考える機会が多く、また色の持つパワーを改めて感じる新年の始まりです。



川崎 美紀 (かわさき・みき) オフィスリバー研修講師 <http://www.officeriver.biz>  
国際線キャビンアテンダントとして10年乗務、2005年JALアカデミーのインストラクターとなる。同時に個人事務所・オフィスリバーを立ち上げ、2012年独立。2015年日本キャリア開発協会認定キャリアディベロップメントアドバイザー(CDA)の資格を取得。主に企業を対象に、ニーズに応じた研修を提案し提供。近年はビルメンテナンス・警備・ホテル・金融機関など各業界での研修実績を持つ。ビルクリーニングカレッジでは「おもてなしマナー」トレーナー講習を担当。